

令和6年10月定例仙台市社会教育委員の会議 会議録

- 日 時 令和6年10月4日（金）10：00～12：00
- 場 所 仙台市役所上杉分庁舎12階教育局第1会議室
- 出席委員 阿部哲也委員，泉山靖人委員，齋藤愛委員，高橋美和委員，高橋由臣委員，内藤良介委員，中山慎也委員，沼里理恵委員，野原昌之委員，朴賢淑委員，松本大委員，若生彩委員（12名出席）
- 事務局職員 伊勢生涯学習部長，武者生涯学習支援センター長，小幡生涯学習課長，加藤生涯学習課主幹，三澤生涯学習課企画係長，菊池生涯学習課施設係長，細川生涯学習課生涯学習係長，生涯学習課生涯学習係 金光寺主査，間宮主査，生涯学習課企画係 松澤主事

○会議の概要

- 1 開会
- 2 挨拶（松本委員長）
- 3 協議事項

（1）調査グループについて

事前の意向調査に基づき，正副委員長と事務局より，資料2のとおり調査グループの割り振りについて提案した。全員了承のうえ，各グループにおいて下記のとおりリーダーの選出を行った。

地域における子どもの居場所：内藤委員（全員揃っていないため仮決定）

外国にルーツを持つ子どもの社会教育のあり方：泉山委員

（2）調査項目及び調査先について

資料3に基づき，委員長から前回の協議を踏まえたテーマ及び視点の修正について説明があり，テーマを「子どもをとりまく社会教育のあり方について一学ぶ喜びと居場所のために一」と，視点を「地域における子どもの学びと居場所」，「外国にルーツを持つ子どもの学びと居場所」とすることとした。

資料3～5に基づき，委員長から今回の協議・検討事項について，資料5に基づき，提案者から調査先の候補団体について説明があった。説明を踏まえ，各グループに分かれて意見交換を行い，内容を発表した。

〔「地域における子どもの学びと居場所」グループより発表〕

内藤委員 調査項目については，1（5）の「利用者（参加者）の人数，属性」の「属性」というところをどこまで含んだらよいのかという話になった。もちろん答えにくいところはお答えしなくてもよいという状況の中で，先方が答えやすいように中学校や高校，男女，外国人の方等，例として具体的な文言を入れた方がよいのではないかと。

また，2の「貴団体の活動（事業）の特徴や課題について」に関し，その団体・事業者のよい特徴になっているところ，うまくいっているところ，自慢できるようなところも教えていただきながら，問題や課題も聞かせてもらったらよいのではないかと話になった。よい特徴についての質問を（1）として追記し，今の（1）～（3）を（2）～（4）とずらしていくのがよいのではないかと。

我々のグループで調査したいこととしては，調査先の段で具体的に話せ

ればと思うが、様々な分野における子どもの居場所になり得るようなところを調査していこうという話になった。いろんな子どもたちがいらっしやるので、必ずしもこの居場所じゃないと、ということではなく、様々な分野に枠を広げながら、今まで調査したことがないようなところも含めてやっていくのがよいのではないか。文言については時間内に決まらなかったため、10月18日までに提出できるよう話をしようということでもとまった。

調査先については、まず「NPO 法人アスイク」。本当に基本となるようなことを広くやっていらっしやる場所なので、ぜひ行こうということになった。あとは「NPO 法人ワンダーアート」と「愛子スポーツ少年団」。様々な子どもがどういうところに自分の居場所を見つけるかということで、芸術とスポーツを含めて調査をしようと思っている。

ワンダーアートでは、なかなか社会で目に触れる機会がないというものもあるので、様々な方からお話を聞かせていただいて、子どもたちにつながるようなヒントを得たい。

スポーツ少年団の方は、野球をやっている小学生の女の子が中学生になったときに、部活等として女子野球というものがあるのだろうかという話になった。ソフトボール部はあると思うが、女子野球部というのはあまりないようだ。高校になると、女子野球部があるところもある。サッカー等も同じで、小学校・高校には女子サッカー部があるが、中学校にはないという状況があるようだ。そういった、女子のできない部分をどう感じているのかとか、その時期に子どもたちの居場所になれなくなってしまうのではないかとこのところを調査したいと思っている。

仮に、3団体のどれかで受け入れが難しいということになった場合は、様々な新しい取組をされている「ろりぼっぷ小学校」に行けたらよいという話をした。

齋藤委員 現在部活がなくなってきており、クラブチームに入らないと試合に出られないというように、スポーツをとりまく環境がかなり変わってきている。スポーツ協会等にも話を聞くと、全体的に把握するのによいのではないか。

内藤委員 今回はたまたま愛子スポーツ少年団という一つの団に限られているが、仰るとおりかと思うので、調査の際にそのあたりを参考にさせていただければと思う。

松本委員長 必要であればスポーツ協会にも話を聞くということになるかもしれないが、まずはスポーツ少年団にインタビューをすることになる。やはりこれから部活動の形が変わっていくというときに、スポーツ少年団・スポーツというのは居場所という意味で重要になるのかなと思う。

〔「外国にルーツを持つ子どもの学びと居場所」グループより発表〕

泉山委員 まだまとまりきっていないが、資料3の3(2)に記載されている課題

を中心に聞いていくことになろうかと思う。特に言語の話と、団体として目指すところがどういったものであるのか、定住を促進する方向でいくのか、あるいは将来の帰国等を念頭に置き、子どもに文化、言語を伝えるというアプローチなのか。そういったところをぜひ確認しながら進めていきたいという話をしていた。

調査先については、大きく3つの観点で選んだ。1つ目が、外国にルーツを持つ子どもたちを大きくサポートする活動ということで「SenTIA」が挙げられた。また、「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス」を、SenTIAと「MIA」が連携してやっているということなので、1回で両方の話を聞けないかと考えている。

次に、当事者（外国にルーツを持つ子ども本人）をサポートする活動ということで、朴委員、野原委員から推薦のあった「外国人の子ども・サポートの会」にお話を伺うのがよいのではないかと考えている。

先ほど申し上げなかったが、SenTIAについては最初に話を聞きたいと考えている。必ずしも統計として揃っているわけではないとのことだが、どういう状況にある子どもが多いのかといった情報をSenTIAから得たい。そのうえで、当事者をサポートする外国人の子ども・サポートの会と、当事者だけではなく、日本の子どもと一緒に活動する場ということで、学校に行きたいと考えている。今のところ、「国見小学校」を第一候補として考えているが、学校の場合、受け入れ可能かどうかという問題もあろうかと思うので、国見が難しい場合は、茂庭台小学校、八幡小学校を考えている。これについては順位付けができなかったため、場合によってはSenTIAに話を聞き、向こうで特徴のようなものを把握していたら、それによってどちらかを選べるかなという話をしていた。

質問事項の具体的な内容については、今後詰めていきたい。

松本委員長 SenTIAとMIAを一緒にというのは。

泉山委員 SenTIAが優先だが、一緒に話を聞きたい。

朴副委員長 SenTIAとMIAと一緒に進路ガイダンスに関わっているので、SenTIAに声をかけると、多分MIAにも声をかけてくださると思う。

松本委員長 それでは、協議内容をもとに、11月から実施する調査に向けた調整を事務局にお願いする。調査項目については、各グループで検討し10月18日までに事務局にお寄せいただきたい。

〔その他意見等〕

泉山委員 個人的な興味もあるので、よければ「地域における子どもの学びと居場所」グループの調査日程等が決まったら情報提供いただき、参加させてもらえればと思う。そちらも外国ルーツの話等混ざってくるかと思うので、調整は該当のグループを優先するにしても、決定後に共有してはいかがかということをご提案したい。

松本委員長 それでは日程が決まったらお互いに共有し、行けるところがあれば参加するということで。

中山委員 気が早いかもしれないが、やがて報告書を書かなければならないので、文章で書いておくスタイルであればよいのかなと思ってはいるが、このあたりについてはどうか。最初から簡条書きだと後から書き足すのは大変かもしれない。また後から言ってもらえれば、それに合わせるけども。

松本委員長 前期は結局、文章と簡条書きが入り混じっており、ページ数もばらばらだった。

泉山委員 それぞれのグループでやり方が違って印象がある。

中山委員 必ずしも揃えなくてはいけないということはないと思うが。

松本委員長 おそらく様式を揃えなかったのは、過去もそうだったからということで、前期も同じようにしていた。もし簡条書きがよいとか、文章がよいとか希望があれば、それを踏まえて考えるが、あまり文章縛りというのも、逆に苦しいかもしれない。

中山委員 とりあえず、それぞれの調査を担当された方でやりやすいように、やがて報告書になるだろうメモを取っておくということで。

松本委員長 報告書について、調査実施後にメモのようなものを書いていただくことになっているかと思う。中山委員からご指摘があったように、まずはそれぞれがやりやすいようにまとめるということで。無理のない範囲で構わない。

他にご意見等なければ、本日の議事は以上となる。

4 その他

委員長より、今後の進め方について説明があった。

5 閉会

「仙台市社会教育委員の会議実施要領」第4条及び第5条に基づき会議録を作成し、同要領第6条に基づき委員長及び会議録署名人が署名する。

令和 6年11月23日

委員長(署名欄)

松本 大

署名委員(署名欄)

齋藤 愛